

11月、労働相談活動ひろがる。相談解決へ
支部が奮闘中。組合員は316人へ

11月の執行委員会、地域での労働相談活動や支部活動の経験交流が行なわれました。そして、組合員数は316人へと増えています。

区労連大会、CUを大きくの発言

(渋谷地域) 区内の団体へ、CU東京の宣伝チラシを配布し、周囲からの未加入者紹介を訴えています。未組織労働者の組織化の課題は、組織労働者の要求実現にも結び付くと位置付け、組織拡大、協力組合員の加入も訴えています。

(こうとう) 駅頭宣伝でのチラシを見て、運送会社の労働者が組合加入しました。

(江戸川) 11月の区労連大会で、CU支部からも区労連役員を派遣することとなりました。これからは労働相談の担当者を増やしていきます。

(北支部) 産廃関連の事業所との解雇問題交渉では、相手側弁護士との話し合いをすすめているが、事業

所は話し合いに応じようとしません。

(葛飾地域)

区労連が、来年の定期大会へ、CU支部結成準備会の方針案を提起していくことを確認。

(品川) 外資系企業の職場、メールで退職を強要されている労働者から相談。会社は1ヵ月分の賃金支払いとの条件を提示。支部が立ち会って、担当責任者へ賃金の6ヵ月を



支払えと要求。話し合いの結果、4ヵ月分を支払う金銭解決となりました。

この他に、正社員の労働者、賃金が削減され、残業代の未払いも続いている。組合に加入し、事業所へ団交を申し入れしました。

(練馬) 10月の区労連大会、CU東京を拡大していこうとの発言がありました。支部は100人の支部を目指そうと、取り組みをすすめています。11月16日の駅頭宣伝では「一人でも加入できる組合」と訴えました。チラシを受け取る人も多い。

非正規労働者の割合35.3%、23万人増の1729万人

7～9月の労働力調査

詳細集計(総務省・11月15日、発表・岩手、宮城、福島を除く)によると、役員を除く雇用者に占める非正規労働者の割合が、

前年同月比0.7ポイント増の35.3%、人数では、前年同月に対して23万人増の1729万人となっています。



746万人が、仕事に就けていない

若年層での非正規雇用の割合は、15～24歳では46.5%。業種別では宿泊業・飲食サービス業の割合が高く、70.4%が非正規雇用です。

完全失業者のうち38.6%が1年以上の失業。失業期間が2年を超える完全失業者は23.2%と、過去最悪の数。男性では30.9%が2年以上の失業期間となっている。リーマンショック後の経済危機のもとで失業して以降、職に就けない人は3割以上いると見られる。推計では、潜在失業者469万人、完全失業者277万人を合わせると、746万人が就業を希望しながら、仕事に就けていません。